



# しののめYMCAこども園 園だより

2021年度9月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

9月聖句 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書 13章 34節

昨年はコロナにより、日常の保育や園行事、イベント等に大きな影響が生まれました。その様な中であっても、保護者の皆様方には、ご理解ご協力を頂き、工夫しながら取組めた事はとても嬉しく心強く感じました。

今年こそは、コロナ感染が収束して一昨年と同様に、保育や園行事を進めることが出来るであろうと楽しみにしておりました。然しながら現状は、感染者数は昨年同時期と比較し、大きく上回り、さらに緊急事態宣言が発令され、私たちの生活や行動も、むしろ昨年よりも制約や制限などの協力を求められる状況になっています。

毎年、保護者・ワイズ・教職員が一丸となって、「こども達の笑顔のために」を合言葉に、大汗をかきながら、取り組んできた「しののめ祭り」も、昨年は中止に致しました。例年、沢山の園児や保護者が集まり、お父さんやお母さんが模擬店で作ってくれた、焼きそばや焼き鳥、クレープ等を食べながら、笑い声や笑顔が園庭には溢れ響いていました。

今年はコロナ禍でしたが、何か視点を変えて出来ないだろうかと言う、想いや願いから「みらいをまもろうSDGsマルシェ」が生み出され取り組みました。コロナ禍で制約や制限が強いられましたが、参加した園児や保護者には笑顔が溢れ、「楽しかったです」「ありがとうございました」と温かい言葉をかけてくれる方々も多くおりました。

何か出来ないだろうか・・・その原点、源は「人と人との繋がり・絆・コミュニケーション」であったと思います。どんな状況下であっても、私たちは他者との関係・交わりの中で生き、そして生活を営んでいます。実施にむけておひさま会・ワイズ・教職員合同の実行委員会が組織されました。実行委員会では、参加した園児や保護者が、笑顔で「楽しかった！」「ありがとう！」と言う姿をイメージして取り組みました。コロナ禍だからこそ、他者との関係や交わりの中で、生きていること、生かされていることを実感し、その大切さに改めて気づかされました。今後共ご理解ご協力をお願い申し上げます。

園長 堀江和広